

た

## 日本史B問題

はじめに、これを読みなさい。

1. この問題用紙は13ページある。ただし、ページ番号のない白紙はページ数に含まない。
2. これは、日本史Bの問題である。出願の時に選択した科目であるかどうかを確認の上、解答すること。
3. 監督者の指示にしたがい、解答用紙の氏名欄に必ず氏名を記入すること。
4. 解答用紙に印刷されている受験番号が正しいかどうか、受験票と照合して確認すること。
5. 解答は、すべて解答用紙の所定欄に記入またはマークすること。所定欄以外のところには何も記入しないこと。
6. 問題に指定された数より多くマークしないこと。
7. 解答は、必ず鉛筆またはシャープペンシル(いずれもHB・黒)で記入すること。
8. 訂正する場合は、消しゴムできれいに消し、消しきずを残さないこと。
9. 解答用紙は、絶対に汚したり折り曲げたりしないこと。
10. 文字は一点一画まで正確に書くこと。
11. 解答用紙はすべて回収する。持ち帰らず、必ず提出すること。ただし、この問題用紙は必ず持ち帰ること。
12. 試験時間は60分である。

13. マークの記入例

良い例	悪い例
	

※ この問題用紙は、必ず持ち帰りなさい。

[ I ] 下記の文章の内、a～eについて、①～⑤の中から最も適切な語を選んでマーク解答欄にマークしなさい。(ア)～(オ)の空欄については、最も適切な語を、漢字で記述解答欄に書きなさい。

9世紀末から10世紀初頭にかけて坂東(関東)を中心に、中央への進物・貢物を強奪したりする集団、いわゆる「群盜」が蜂起した。これなどを契機として、はじめは臨時の令外官であった押領使・追捕使が、常置されるようになった。このとき、押領使・追捕使などとして、こうした反乱の鎮圧にあたったのが  
〔ア〕とよばれる氏族である。〔ア〕の代表的なものとしては、桓武平氏、清和源氏、秀郷流藤原氏などがある。このうち清和源氏とは、清和天皇の子孫たちのなかで臣籍降下し、源姓を下賜され新しく成立した氏族のことをいうが、清和天皇第6皇子・貞純親王の子a【① 以仁王 ② 長屋王 ③ 高望王 ④ 聖明王 ⑤ 経基王】は、武蔵介のとき平将門の動静を反乱として報告し、のちに藤原純友の乱の鎮圧にも関係した。清和源氏ではaの系統がもっとも栄え、後年源義家や源頼朝などが出で、いわゆる「武家の棟梁」の嫡流家系となつた。

一方、桓武平氏の流れをくみ上総介や武蔵国押領使をつとめたb【① 平維衡 ② 平忠正 ③ 平時忠 ④ 平忠常 ⑤ 平重衡】は、1028年に反乱をおこして房総三国(安房、上総、下総)を占領した。朝廷はこれに対して討伐軍を派遣したが、はじめの3年間は平定することができなかった。1031年、朝廷は甲斐守であった〔イ〕を追討使に任じ、bの討伐を命じた。bの軍勢は、長期の戦いで疲弊していたこともあり、1031年に降伏した。〔イ〕は、武勇の誉れ高く、のちに河内守に任じられて土着し、河内源氏の祖となった。このときからの源氏と坂東(関東)の武士たちの関係が、のちの源氏東国支配の礎となつた。

7世紀から9世紀にかけて断続的に続いたヤマト政権と蝦夷の戦いにおいて、朝廷に帰順・同化し各地に配置・強制移住された蝦夷を俘囚という。俘囚は、狩猟や武術の訓練を生活の特徴としており、その武器や戦闘技術は朝廷側の武士た

ちにも大きな影響を与えた。1051年、陸奥の土豪で俘囚の長である (ウ) は子の貞任・宗任らとともに、女婿の藤原經清らの助けをかりて国司に反抗した。朝廷の命により源頼義・義家父子が、清原氏の助けをかりてこれの平定にあたった。この戦いは前九年の役と呼ばれるが、実際は1062年まで12年間にわたって断続的に続いたものであった。その後、1083年、清原氏の相続争いに陸奥守として赴任した源義家が介入し、藤原清衡を助けて、清原氏を1087年に c 【① 淳足柵 ② 胆沢城 ③ 金沢柵 ④ 多賀城 ⑤ 磐舟柵】での激戦の末滅ぼした。この戦いを後三年の役とよぶ。この戦いの論功行賞において、源義家が私財を投じて恩賞を与えたこともあって、源氏の東国における信望が高まり、武家の棟梁としての地位を確立した。

一方、藤原清衡は、安倍・清原両氏の支配地を継承し、平泉を本拠地として、子の基衡、孫の秀衡と続く奥州藤原三代の栄華を築いた。清衡は平泉において、円仁が開いたとされる中尊寺を復興(事実上の創建)して金色堂を建立し、基衡・秀衡も、同じく円仁が開基と伝えられる d 【① 毛越寺 ② 高山寺 ③ 笠置寺 ④ 泉涌寺 ⑤ 極楽寺】に多くの伽藍を建立した。とくに d の庭園は、建築物の前面に池を配したもので、浄土思想を反映した浄土(式)庭園の特色を有している。3代秀衡の子である藤原 (エ) は、源頼朝の要請に屈して源義経の居所であった衣川館を襲撃し、義経を自害させたが、のちに (エ) は自らも頼朝に攻められ、滅ぼされた。

奥州藤原氏滅亡後、1189年、源頼朝は奥州の御家人の統率と、幕府への訴訟や取り次ぎを目的として (オ) の職を置いた。初代の (オ) には葛西清重があたった。一方、頼朝はそれ以前から、在京の御家人の統率、洛中の警備・裁判、朝廷と幕府との交渉などの目的で、1185年に e 【① 京都町奉行 ② 京職大夫 ③ 京都守護 ④ 京都所司代 ⑤ 京上夫】を設置し、北条時政をその任にあたらせた。この e は、承久の乱ののち、六波羅探題となつた。

[Ⅱ] 次の史料を読み、下記の設問に答えなさい。

[史料 1] 黒船着岸の時、定置年寄共、糸のねいたさざる以前、諸商人長崎へ  
入るべからず候。糸の直相定候上は、万望次第に商売致すべき者也。

慶長九辰年五月三日 本多上野介(正純)(判)

板倉伊賀守(勝重)(判) (以下略)

( a 由緒書)

[史料 2] b 積問屋共より是迄年々冥加上納金致し來り候処、問屋共不  
正の趣も相聞え候ニ付、以來上納ニ及ばず候。尤、向後右仲間株札ハ  
勿論、此外共都て問屋仲間 幷 組合杯と唱候儀は、相成らず候間其段申  
し渡さるべく候。(以下略)

(天保法制)

[史料 3] c 御開港、外國貿易仰せ出され候ニ付、諸商人共一己の利徳  
ニ泥み、競而相場耀上げ、荷元を買受け、直ニ御開港場所江相廻し候ニ  
付、御府内入津の荷物相減じ、諸色払底ニ相成り、難儀致し候趣相聞候  
ニ付、当分の内左の通り仰せ出され候。

一 雜穀 一 水油 一 蠟 一 呉服 一 d  
右の品々ニ限り、貿易荷物の分者、は すべて 都而御府内より相廻し候筈ニ候  
間、在々より決而 c 表江積出し申す間敷候。(以下略)

(続徳川実紀)

## 設問

1 a～dにあてはまるものとして正しい組み合わせの番号を下記の①～⑤から1つ選び、マーク解答欄にマークしなさい。

- |          |        |       |     |
|----------|--------|-------|-----|
| ① a 長崎実録 | b 菱垣廻船 | c 兵庫  | d 茶 |
| ② a 長崎実録 | b 樽廻船  | c 横浜  | d 糸 |
| ③ a 糸割符  | b 菱垣廻船 | c 神奈川 | d 糸 |
| ④ a 糸割符  | b 樽廻船  | c 神奈川 | d 綿 |
| ⑤ a 御触書  | b 東廻航路 | c 兵庫  | d 綿 |

2 史料1は、長崎貿易におけるポルトガル商人等の利益独占を排除するためとられた措置であったが、輸入生糸一括購入のための価格決定に参加したのはどの地域の商人か。後に追加された地域も含めて正しいものを下記の①～⑤から1つ選び、マーク解答欄にマークしなさい。

- |      |    |     |    |    |
|------|----|-----|----|----|
| ① 京都 | 博多 | 堺   | 長崎 | 平戸 |
| ② 京都 | 小倉 | 名護屋 | 長崎 | 松坂 |
| ③ 京都 | 大坂 | 江戸  | 長崎 | 松坂 |
| ④ 京都 | 大坂 | 堺   | 長崎 | 江戸 |
| ⑤ 京都 | 博多 | 小倉  | 長崎 | 平戸 |

3 史料1にみられる貿易とともに、中国人との交易もおこなわれていた。それに関連した以下の文章中の□に該当する最も適切な語句を、下欄①～⑤のなかから1つ選び、その番号をマーク解答欄にマークしなさい。

足利義満が始めた勘合貿易や倭寇による私貿易により大量の明銭(銅銭)が輸入され、国内で流通していた。16世紀後半には日本国内での商品流通の拡大とともに通貨としての明銭の需要が高まっていたが、輸入ルートとなっていた勘合貿易の廃絶や明の通貨政策の変更等により流入が衰微したため、銅銭不足が深刻化した。このことは、戦国大名が年貢収納額や家臣への給付高を銭の数量で表し、それに応じた軍役を負担させるという□の継続を困難にしていった。

- |       |       |      |       |       |
|-------|-------|------|-------|-------|
| ① 棟別銭 | ② 摳銭令 | ③ 段銭 | ④ 貫高制 | ⑤ 傅祿制 |
|-------|-------|------|-------|-------|

4 1613(慶長18)年に、幕府から朱印状を与えられ、平戸商館開設及び交易を許可されたが、1623年のアンボイナ事件での敗北を契機として、対日貿易から撤退した国名を、カタカナで記述解答欄に記入しなさい。

5 史料2に見られる措置がとられる以前に、18世紀前半の幕政改革で価格・流通の統制のため仲間組織が公認されている。この18世紀前半の時期の主な改革に該当しないものを下欄①～⑤のなかから1つ選び、マーク解答欄にマークしなさい。

- |         |          |       |
|---------|----------|-------|
| ① 上げ米の令 | ② 足高の制   | ③ 畜捐令 |
| ④ 目安箱設置 | ⑤ 公事方御定書 |       |

6 史料2に見られる施策のように、天保の改革により初めてとられた施策に該当するものを、下欄①～⑤のなかから1つ選び、マーク解答欄にマークしなさい。

- |          |             |             |
|----------|-------------|-------------|
| ① 定免法    | ② 上知(地)令    | ③ 関東取締出役の設置 |
| ④ 異国船打払令 | ⑤ 小石川養生所の設置 |             |

7 史料2に見られるような上納金のほかに、多くは江戸後期に、幕府や諸藩が財政不足を補うため、米価対策や海防など臨時かつ巨額の入費を賄う費用として富裕な町人や農民に課した臨時の賦課金の名称を、漢字3文字で記述解答欄に記入しなさい。

8 史料2に見られる措置は、仲間組織による商品流通の独占が物価騰貴の原因と捉え、新興商人の自由な商品取引による物価引き下げを期待したものであった。商品の生産や流通が盛んになった農村部を中心に成長してきたこのような商人の一般的な名称を、漢字4文字で記述解答欄に記入しなさい。

- 9 史料3に見られる流通政策の名称を、漢字7文字で記述解答欄に記入しなさい。
- 10 史料3に見られる流通政策が出された幕末に、開港場で日本からの輸出品を外国人商人と取引していた日本の貿易業者の一般的な名称を、漢字3文字で記述解答欄に記入しなさい。

〔Ⅲ〕 次の文章は、日本の近世の文化とヨーロッパの文化の関係について述べたものである。これを読んで、設問に対するもっとも適切な答えを記入しなさい。設問1～5については記述解答欄に書き、設問6～15についてはマーク解答欄にマークしなさい。

16世紀の半ば、種子島にポルトガル人の乗った船が漂着し、以後九州各地にポルトガル人が来航し、鉄砲の製造と使用の技術が日本にもたらされた。一方、

(ア) には、イスパニア(スペイン)人も松浦氏の支配地である A に来航し、貿易を始めた。九州の諸港に来航した、ポルトガル人、および、イスパニア(スペイン)人との間の貿易を、 B 貿易という。これに伴って、キリスト教の布教活動が九州各地で行われるようになり、大名の中には自ら洗礼を受け、キリシタン大名と呼ばれるものも出てきた。キリシタン大名のうち、大友義鎮、 C 、大村純忠の三大名は、イエズス会の宣教師ヴァリニヤーニ(バリニヤーノ)のすすめで、ローマ教皇のもとに4人の少年使節を派遣した。ヴァリニヤーニは金属活字による印刷術も伝え、キリスト教文学の翻訳や日本語辞書、日本古典の出版が行われた。キリシタン版、天草版といわれるこれらの出版物として、『天草版 (イ)』や『天草版伊曾保物語』、『 (ウ)』などがある。

徳川幕府の鎖国によって、西洋の学術・文化の輸入は困難になったが、18世紀になると、徳川吉宗が漢訳洋書の輸入制限をゆるめ、儒者であった青木昆陽、本草学者の (エ) らにオランダ語を学ばせたことから、蘭学を主とした実用的な洋学が発達し始めた。医学においては中津藩医であった D 、小浜藩医であった杉田玄白を中心に、中川淳庵らが協力した『解体新書』の訳述、暦学においては (オ) による、西洋暦法を取り入れた (カ) の作成などが挙げられる。18世紀後半には、絵画においても、西洋画の技法を取り入れた洋風画を手掛けるものが出てきた。平賀源内に師事した (キ) 藩士の (ク) は、『解体新書』の挿絵を描き、主君の佐竹曙山(義敦)とともに、 (キ) 蘭画を確立した。やはり平賀源内に学んだ (ロ) は、遠近法や E 法を取り入れた銅版画や油彩画を描いた。銅版画や油彩画では白河藩の (ハ) も知られているほか、 (ケ) で自刃することになる (ニ) も西洋画の技法を取り入れている。

- 1 空欄Aに入る地名を、漢字で書きなさい。
- 2 空欄Bに入る語句を、漢字で書きなさい。
- 3 空欄Cに入る人名を、漢字で書きなさい。
- 4 空欄Dに入る人名を、漢字で書きなさい。
- 5 空欄Eに入る語句を、漢字で書きなさい。
- 6 (ア)に入る年号を下記の①～④の中から選びなさい。  
① 1543年 ② 1549年 ③ 1582年 ④ 1584年
- 7 (イ)に入る書名を下記の①～④の中から選びなさい。  
① 源氏物語 ② 平家物語 ③ 伊勢物語 ④ 雨月物語
- 8 (ウ)に入る書名を下記の①～④の中から選びなさい。  
① ハルマ和解 ② 西洋紀聞 ③ 日葡辞書 ④ 舎密開宗
- 9 (エ)に入る人名を下記の①～④の中から選びなさい。  
① 野呂元丈 ② 本木良永 ③ 稲村三伯 ④ 宇田川玄隨
- 10 (オ)に入る人名を下記の①～④の中から選びなさい。  
① 志筑忠雄 ② 大槻玄沢 ③ 桂川甫周 ④ 高橋至時
- 11 (カ)に入る語句を下記の①～④の中から選びなさい。  
① 貞享暦 ② 寛政暦 ③ 宝暦暦 ④ 天保暦
- 12 (キ)に入る地名を下記の①～④の中から選びなさい。  
① 会津 ② 熊本 ③ 秋田 ④ 唐津

13 (ヶ)に入る出来事を下記の①～④の中から選びなさい。

- |            |           |
|------------|-----------|
| ① 蛮社の獄     | ② シーポルト事件 |
| ③ フェートン号事件 | ④ 寛政異学の禁  |

14 (い)～(に)に入る人名の組み合わせとして正しいものを、下記の①～④の中から選びなさい。

- |   |
|---|
| ① (い) 亜欧堂田善 (ろ) 小田野直武 (は) 渡辺峯山 (に) 司馬江漢 |
| ② (い) 小田野直武 (ろ) 司馬江漢 (は) 亜欧堂田善 (に) 渡辺峯山 |
| ③ (い) 司馬江漢 (ろ) 亜欧堂田善 (は) 渡辺峯山 (に) 小田野直武 |
| ④ (い) 亜欧堂田善 (ろ) 小田野直武 (は) 司馬江漢 (に) 渡辺峯山 |

15 図版(a)・(b)・(c)の絵を描いた人物の組み合わせとして正しいものを、下記の①～④の中から選びなさい。

- |             |           |           |
|-------------|-----------|-----------|
| ① (a) 亜欧堂田善 | (b) 司馬江漢  | (c) 渡辺峯山  |
| ② (a) 渡辺峯山  | (b) 亜欧堂田善 | (c) 狩野永徳  |
| ③ (a) 司馬江漢  | (b) 池大雅   | (c) 狩野永徳  |
| ④ (a) 池大雅   | (b) 司馬江漢  | (c) 亜欧堂田善 |

(a)



(b)



(c)



[IV] 次の文章は、主に日本の近現代の文化・学術について述べたものである。これを読んで、設問に対するもっとも適切な答えを記入しなさい。設問1～5についてはマーク解答欄にマークし、設問6～10については記述解答欄に書きなさい。

明治・大正期には、多くの優秀な日本の若者が、西洋に派遣され、あるいは自ら志して渡航し、留学で得た知見を糧に、近代日本の文化・学術の発展に大きく寄与した。英語の研究のために文部省留学生として1900年にイギリスに留学した夏目漱石は、帰国後、東京帝国大学や明治大学の講師などを経て小説家となり、日本の近代文学を代表する数々の作品を著した。東京音楽学校を卒業した滝廉太郎は、さらなる音楽の学究のためにドイツに留学、帰国後まもなく病死したものの、その後の日本国民に歌い継がれる多くの歌曲や童謡を残した。工部大学校の造家学科を卒業した辰野金吾は、1880年にイギリスに留学し、帰国後、多数の本格的な洋風建築を設計した。また、法律研究のために渡仏中、美術に転向した黒田清輝は、帰国後、久米桂一郎らと1896年に〔A〕を結成した。そのメンバーはフランス印象派のような明るい色調を使う傾向が見られ、外光派とも呼ばれた。そして1900年に渡欧し、フランスとドイツに学んだ彫刻家の〔E〕は、第一回文展に出展された『ゆあみ』など、洋風彫塑と日本の伝統とを融合した新古典主義的作風を展開していった。

そのような時代を経て、昭和期には文化・学術の諸分野で、近代化以降の日本における成果が海外で広く知られるようになったり、国際的な評価を獲得する人が輩出されたりするようになった。1951年にはベネチア国際映画祭にて、黒澤明が監督した作品『〔B〕』が最高賞の金獅子賞を受賞した。さらに、翌1952年には、〔C〕が監督した作品『西鶴一代女』が同映画祭の国際賞を受賞した。また、1968年には『雪国』などの作品で知られる小説家の〔D〕が、日本人初のノーベル文学賞を受賞した。科学の諸分野でも、日本はノーベル賞受賞者を幾人も輩出するようになった。たとえば1965年には、量子力学を研究し、超多時間理論を完成させた〔オ〕が、ノーベル物理学賞を受賞した。また、1963年には医学博士号を持つマンガ家の〔E〕の作品を原作とする国産

初の本格的な30分枠の連続テレビアニメが放映されたが、同アニメは海外でも放映され、その後の日本産テレビアニメの海外輸出の先駆的な事例の一つとなつた。

### 設問

1 下線部(ア)の人物の著書を、下記の①～④の中から選びなさい。

- |            |          |
|------------|----------|
| ① 『私の個人主義』 | ② 『思出の記』 |
| ③ 『田舎教師』   | ④ 『友情』   |

2 下線部(イ)の人物が作曲した歌を、下記の①～④の中から選びなさい。

- |              |           |
|--------------|-----------|
| ① 『カチューシャの唄』 | ② 『螢の光』   |
| ③ 『花』        | ④ 『影を慕いて』 |

3 下線部(ウ)の人物が中心となって設計した建築を、下記の①～④の中から選びなさい。

- |           |            |
|-----------|------------|
| ① 『帝国ホテル』 | ② 『帝国劇場』   |
| ③ 『赤坂離宮』  | ④ 『日本銀行本店』 |

4 空欄Aに入る人名を、下記の①～④の中から選びなさい。

- |        |         |
|--------|---------|
| ① 萩原守衛 | ② 新海竹太郎 |
| ③ 高村光雲 | ④ 竹内久一  |

5 空欄Bに入る人名を、下記の①～④の中から選びなさい。

- |         |         |
|---------|---------|
| ① 湯川秀樹  | ② 朝永振一郎 |
| ③ 江崎玲於奈 | ④ 福井謙一  |

6 空欄Aに入る団体名を、漢字で書きなさい。

7 空欄Bに入る作品名を、漢字で書きなさい。

8 空欄Cに入る人名を、漢字で書きなさい。

9 空欄Dに入る人名を、漢字で書きなさい。

10 空欄Eに入る人名を、漢字で書きなさい。